

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330311060	保育内容(言葉) Child-care Contents(Language)	田村 佳世	✓		2	必修	1前期

科目の概要

DP1, 3, 5に則って、4大精神を実践しながら、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭に不可欠な専門的知識・技能を身に付け、社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けた保育者の育成を目指す。
 保育における具体的な指導では、10年間の保育所保育士として働いた経験を活かし、場面指導や子ども理解に関する講義・演習を行います。
 特にこの科目では、保育士・幼稚園教諭の資格免許を生かして子どもたちの学力および社会性・社会力の基礎・基本を育てるための知識及び技術を身に着けるために、保育内容の視点から子どもの「言葉」の発達を学びます。そして、子どもの言葉の発達を促すための、環境構成、保育者の援助を事例より具体的に理解したり、絵本の読み聞かせを始めとする児童文化財についての基礎的な知識及び実践力を身に着けます。

学修内容	到達目標
① 幼稚園教育要領等における教育・保育の基本、領域「言葉」のねらい及び内容並びに全体構造を理解する。 ② 領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、乳幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解する。 ③ 乳幼児の教育・保育における評価の考え方を理解する。 ④ 領域「言葉」の乳幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解する。	① 幼稚園教育要領等における教育・保育の基本、領域「言葉」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 ② 領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、乳幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 ③ 乳幼児の教育・保育における評価の考え方を理解している。 ④ 領域「言葉」の乳幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等を参考に様々な観点から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで人の意見をうなずきながら聞き、思いを受け止めて、そのうえで自分の意見を述べ、発展的なコミュニケーションができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「コンパス 保育内容言葉」 内藤知美・新井美保子編著 建帛社、
 「これだけは知っておきたい わかる・書ける・使える 保育の基本用語」わかば社
 「保育所保育指針」

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「保育内容（言葉）」は「保育の内容・方法に関する科目」で、「保育内容（表現A）」「こども表現（音楽Ⅰ）」と並び、「保育内容（健康）」に関連する科目である。
 資格との関連：保育士資格・幼稚園教諭免許一種

学修上の助言	受講生とのルール
・予習・復習学習を行い、積極的に講義に参加すること。 ・知識や技術の修得を目的にすることなく、自分が目指す保育者としての将来像をもって授業に参加すること。	・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・課題等は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。欠席時は必ずメールにてその旨を担当教員に連絡を入れる。 ・授業の内容は状況に応じて順序が入れ替わることがあるため、classroomの授業資料、連絡をよく確認しておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
				④					
	平常評価	小テスト	20	①	✓				(獲得) 保育用語の漢字テストの予習 (活用) 保育用語の漢字テストの実施 (90%) (解決) 保育用語の漢字テストの間違いの復習 (10%)
				②					
				③					
				④					
		レポート	40	①	✓				(獲得) 課題テーマに関する授業内容の理解 (20%) (活用) 課題テーマに関する発表内容の理解 (40%) (解決) 課題テーマに関する学びの活用に関する提案 (40%)
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓				(獲得) 児童文化財の理解 (20%) (活用) 児童文化財の具体的な保育の活用方法理解と実践 (40%) (解決) 児童文化財に関する実践の自己課題理解と改善提案 (40%)
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				(主体性) 予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。 (実行力) 目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。 (課題発見力) 子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 (創造力) 子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。 (発信力) 聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。 (傾聴力) グループワークで人の意見をうなずきながら聞き、思いを受け止めて、そのうえで自分の意見を述べ、発展的なコミュニケーションができる。 (規律性) 授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。	
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S (秀) - 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を的確に理解したり、教員に確認しながら計画的かつ意欲的に学びを深めることができる。 - 発表に関しては仲間と分担、協力して意欲的かつ具体的に準備、発表、学びの共有ができる。 - レポートではテーマに沿った内容を、自分の言葉で具体的に表現でき、授業内容を踏まえた新たな提案ができる。 A (優) - 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を理解したり、教員に確認しながら計画的かつ意欲的に学ぶことができる。 - 発表に関しては仲間と分担、協力して準備、発表、学びの共有ができる。 - レポートではテーマに沿った内容を、自分の言葉で表現でき、授業内容を踏まえた新たな提案ができる。	B (良) - 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を理解したり、教員に確認しながら学ぶことができる。 - 発表に関しては自分の担当内容を理解し意欲的に発表ができる。 - レポートではテーマに沿った内容を、授業内容を踏まえてまとめることができる。 C (可) - 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を参考にしたり、教員に確認しながら学ぶことができる。 - 発表に関しては自分の担当内容を理解し発表ができる。 - レポートではテーマに沿った内容をまとめることができる。 - その他：Dの再評価（再提出含む）

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	「オリエンテーション」 ・保育の基本と領域「言葉」のねらいと内容について学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・授業の目的・目標・評価方法について理解できる。5領域とは何かを理解し、言葉と他領域との関連について考えることができる。	（予習）授業シラバスを事前に読み、疑問点及び質問事項を考えておく。 （復習）領域「言葉」のねらいと内容についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「言葉とは」 ・言葉の多様な機能、言葉の発達を援助する環境としての保育者の応答的な関りの重要性について学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・言葉や言葉以外を使ったコミュニケーションを体験し、コミュニケーションの在り方について理解することができる。	（予習）自分の普段のコミュニケーションについて振り返る。漢字テスト①の暗記 （復習）コミュニケーションについてグループワークで学んだことについてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「保育における言葉の発達」 ・人間の言葉の獲得方法、言葉の機能について学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・言葉の獲得方法論、言葉の構造、機能について理解することができる。	（予習）テキスト第2章「保育における言葉の発達」を読み、疑問点をまとめる。漢字テスト②の暗記 （復習）授業資料の事例を読み、言葉の獲得方法についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「0歳児の言葉の発達」 ・0歳児の言葉の発達、保育者の援助、環境構成について学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・0歳児の身体、認知、及び心理発達と言葉の発達との関連性について理解することができる。 ・保育者の応答的な関わり、言葉を豊かに育む環境構成について具体的に理解することができる。	（予習）テキスト第3章「0歳児の言葉」を読み、疑問点等をまとめる。漢字テスト③の暗記 （復習）0歳児の言葉の発達の要点についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「1歳児の言葉の発達」 ・1歳児の言葉の発達と保育者の援助、環境構成について学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・1歳児の身体、認知、及び心理発達と言葉の発達との関連性について理解することができる。 ・保育者の応答的な関わり、言葉を豊かに育む環境構成について具体的に理解することができる。	（予習）テキスト第4章「1歳児の言葉」を読み、疑問点をまとめる。漢字テスト④の暗記 （復習）1歳児の言葉の発達の要点についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「2歳児の言葉の発達」 ・2歳児の言葉の発達と保育者の援助、環境構成について学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・2歳児の身体、認知、及び心理発達と言葉の発達との関連性について理解することができる。 ・保育者の応答的な関わり、言葉を豊かに育む環境構成について具体的に理解することができる。	（予習）テキスト第5章「2歳児の言葉」を読み、疑問点をまとめる。漢字テスト⑤の暗記 （復習）2歳児の言葉の発達の要点についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「3歳児の言葉の発達」 ・3歳児の言葉の発達と保育者の援助、環境構成について学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・3歳児の身体、認知、及び心理発達と言葉の発達との関連性について理解することができる。 ・保育者の応答的な関わり、言葉を豊かに育む環境構成について具体的に理解することができる。	（予習）テキスト第6章「3歳児の言葉」を読み、疑問点をまとめる。漢字テスト⑥の暗記 （復習）3歳児の言葉の発達の要点についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「4歳児の言葉の発達」 ・4歳児の言葉の発達と保育者の援助、環境構成について学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信 で課題に取り組み、フィードバックを行う。	・4歳児の身体、認知、及び心理発達と言葉の発達との関連性について理解することができる。 ・保育者の応答的な関わり、言葉を豊かに育む環境構成について具体的に理解することができる。	（予習）テキスト第7章「4歳児の言葉」を読み、疑問点をまとめる。漢字テスト⑦の暗記 （復習）4歳児の言葉の発達の要点についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	「5歳児の言葉の発達」 ・5歳児の言葉の発達と保育者の援助、環境構成につて学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・5歳児の身体、認知、及び心理発達と言葉の発達との関連性について理解することができる。 ・保育者の応答的な関わり、言葉を豊かに育む環境構成について具体的に理解することができる。	（予習）テキスト第8章「5歳児の言葉」を読み、疑問点をまとめる。漢字テスト⑧の暗記 （復習）5歳児の言葉の発達の要点についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「領域「言葉」のねらい及び内容」 ・領域「言葉」と保育実践とのつながりについて学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	保育所保育指針等の領域「言葉」と保育実践の関係が分かることができる。	（予習）テキスト第9章「領域言葉のねらい及び内容」を読み、疑問点をまとめる。漢字テスト⑨の暗記 （復習）領域言葉のねらい及び内容の要点についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「言葉の発達のサポート」 ・子どもの言葉の発達を支える援助方法、配慮点、障がいの特徴について学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・サポートが必要な子ども、保護者に対して、適切な援助方法、保育方法が分かる。	（予習）テキスト第10章「気になる子どもへの言葉の発達のサポート」、11章「日本語を母語としない子どもの言葉の発達を考える」を読み、疑問点をまとめる。漢字テスト⑩の暗記 （復習）サポートが必要な子どもの援助方法、保護者対応の要点についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「言葉の発達を促す児童文化財（3歳未満児）」発表準備 ・3歳未満児に向けた児童文化財の特徴や作品について学ぶ。 （絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター、人形劇、わらべうた）	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・発達段階に合った言葉の発達を促す遊びや児童文化財を考え、グループ討議に積極的に参加することができる。	（予習）テキスト第12章「言葉の発達を促す児童文化財（3歳未満児）」を読み、疑問点をまとめる。 （復習）発表（絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター、人形劇、わらべうた）の児童文化財についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「言葉の発達を促す児童文化財（3歳以上児）」発表準備 ・3歳以上児に向けた児童文化財の特徴や作品について学ぶ。 （絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター、人形劇、わらべうた）	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・発達段階に合った言葉の発達を促す遊びや児童文化財を考え、グループ討議に積極的に参加することができる。	（予習）テキスト第13章「言葉の発達を促す児童文化財（3歳以上児）」を読み、疑問点をまとめる。 （復習）発表（絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター、人形劇、わらべうた）の児童文化財についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「児童文化財を活用した言葉を育てる保育」（発表） ・3歳未満児に向けた児童文化財の特徴、保育での活用方法について発表する。 （絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター、人形劇、わらべうた）	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信 課題に取り組み、フィードバックを行う。	・発表に際し、準備を整えて発表に臨める。 ・他者の発表に対して傾聴の姿勢で聞くことができる。	（予習）発表内容を完成させ、発表練習をしておく。 （復習）発表グループの内容発表についてノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「児童文化財を活用した言葉を育てる保育」 ・児童文化財を活用した保育実践の指導案の作成と振り返り	オンデマンド オープンエデュケーションの視聴 ほいくis「シアター【part.2】ねらいとポイント」 https://hoiku-is.jp/seminar/movie/18/classroom に授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・レポート課題に対し、自分の力で努力できた。 ・授業内容を振り返り、今後の課題を見出すことができる。	（予習）発表の振り返りをする。 （復習）レポートをまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力